

特定秘密保護法 2,566団体が全国で廃止求める！

安倍政権が、昨年12月6日に国民の声を無視して特定秘密保護法案を強行採決したことに対し、退職者連合は昨年暮れ、全国の退職者連合傘下の中央・地方組織に呼び掛けて「廃止を求める団体署名」運動を取り組みました。

その結果、1月31日の第一次集約分として2,566団体から署名が集まりました(写真左、2月6日現在)。寄せられた署名は、民主党の協力を得て、衆議院の伊吹文明議長宛に請願し、安倍首相に届けられることが予定されています。

ご協力頂きました団体の皆様、誠にありがとうございました。

退職者連合のホームページ(HP)開設決定！ 退職者連合のHP開設が決まりました。3月初めにスタート予定です！

コラム

平和を守る学習会を開催する

連合滋賀高退協 幹事

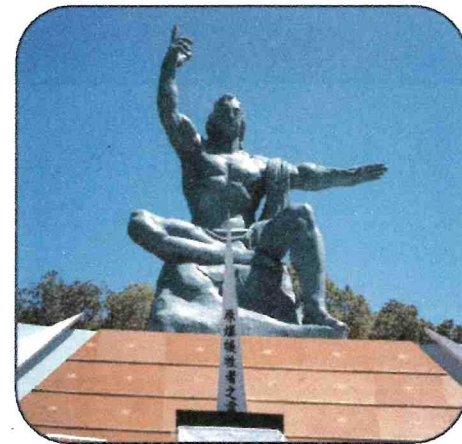
郵政退職者滋賀通友会 東木 武夫

郵政退職会・滋賀通友会(会長 山本十三)が昨年11月6日彦根勤労福祉会館において「秋の学習会」を開き60名が参加しました。

最初に核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす「高校生一人署名活動」実行委員会の第14代長崎高校生平和大使の塩田真希さんが、2011年8月からの署名は96万筆になり、国連公認署名として永久保存され国連欧州本部の常設原爆展に展示されていることや、同本部軍縮会議で英語スピーチを述べたこと。また、この活動が韓国やブラジルなど海外でも広がり、修学旅行で訪れる中高生や留学生の交流や地震などの災害発生時の救援募金の取り組みが行われていることや、他に神奈川、福岡、大分、熊本、広島、岩手にも実行委員会があることも紹介されました。

「武力より教育を！ミサイルよりエンピツを」さらにはエンピツを贈っているアジアの子どもたちに、高校生が里親となって奨学金を贈る「高校生アジア子ども基金」を創設。“微力ではあるが無力ではない”の話に参加者は感銘を受けました。

休憩の後、8月5日の郵政退職主催の核兵器廃絶を求める広島集會に参加した滋賀代表5名から報告と決意があり、第二部の「福島原発事故と若狭原発について」、グリーンアクション代表のアイリーン・美緒子・スミスさんは「日本にある53基の原発は止まっているが経済活動や日常生活に何ら支障はない」とした上で、若狭にはもんじゅと13基もの原発があり、活断層の上に立っている原発もある。高嶋市、長浜市は30キロ、琵琶湖は60キロ圏内だが、関西地域連合は何の対策もなく、避難経路も京都、奈良、大阪、兵庫と不十分なものと語り、さらに高島川における放射能汚染チップの不法投棄もそのまま。政府発表の年間放射線量20ミリシーベルトでは子どもの生命は守れないと貴重な活動の報告が語られました。



第42号 2014.2.28
発行所：連合滋賀高退協
発行責任者：吉川 浩次
編集責任者：山崎 長栄
大津市松本2-10-6
TEL 077-523-0500
FAX 077-523-5600

組織拡大に取り組む重要な一年に！
連合滋賀高齢・退職者団体協議会 第20回総会を開催

連合滋賀高齢・退職者団体協議会は、第20回総会を2月8日(土)ライズヴィル都賀山にて、役員、代議員合わせて65名の参加で開催しました。

総会では、2013年度活動報告、会計・監査報告を承認した後、充実した活動実践に向け審議がなされました。2014年度の運動方針では、7つの運動の基本を柱に、日本高退連および近プロ高退会の運動方針に沿い、滋賀の地

域特性を踏まえた運動を展開していくことや、予算などの5つの議案が全会一致で承認されました。

総会の最後にはNTT労組退職者の会滋賀県支部協議会の北村富子代議員が総会宣言を提案し満場の拍手で承認されました。



◆政策・制度関係

日本高退連の方針に沿い、安心と信頼のできる充実した年金・医療制度・社会保障制度・税制改革をめざし、連合滋賀議員団と連携をし、政策・制度の実現に向けて取り組みます。

◆組織・運動関係

日本高退連の「組織拡大・強化アクションプラン」に基づき、現役組織と連携して拡大目標を設定し、連合滋賀高退協の組織拡大・強化に取り組みます。

◆充実した暮らしを求める活動

加盟組織や会員相互の交流・親睦と高齢者集會の開催や、グラウンドゴルフ大会等のスポーツ交流会を開催します。

◆滋賀県知事選挙および各種地方自治体選挙の取り組み

連合滋賀の方針に基づき現役組織と連携し、連合滋賀推薦候補者の必勝をめざして取り組みます。

◆連合滋賀との連携

連合滋賀の運動と連携し、現役組織・組合員との交流を図ります。



役員退任のお知らせ

☆五十嵐 英雄【副会長10年、幹事4年】
【関労滋賀地区OB会】

☆坂谷 達也【幹事6年】
【自治労滋賀県本部自治体退職者会】

☆勝田 幸三【幹事6年】
【UAゼンセンシニア友の会滋賀県支部】

☆西山 敦【幹事2年】
【新日本電気「乙酉会」】

☆北川 治太郎【幹事15年】
【鉄道退職者の会滋賀支部】



2014~2015年度 役員体制

役職名	氏名	組織名
会長	吉川 浩次	UAゼンセンシニア友の会滋賀県支部
副会長	山本 十三	郵政退職者会 滋賀通友会
	山森 正	滋賀県退職教職員協議会
	松元 光彦	連合滋賀
事務局長	山崎 長栄	NTT労組退職者の会滋賀県支部協議会
事務局次長	杉田公太郎	連合滋賀
幹事	福家 淑	UAゼンセンシニア友の会滋賀県支部
幹事	堀井 雅和	NTT労組退職者の会滋賀県支部協議会
幹事	田淵 博志	ダイハツ阜月会滋賀支部
幹事	尾上 雅秀	石心会(新日本電気退職者の会)
幹事	東木 武夫	郵政退職者会 滋賀通友会
幹事	清水 明美	滋賀県退職教職員協議会
幹事	那須 善行	鉄道退職者の会滋賀支部
幹事	小島 重夫	農林水産省滋賀県退職者の会
幹事	西田 勝治	全印刷局労組退職者の会彦根支部
幹事	辻川 博	電機連合滋賀地協歴代役員懇談会
幹事	鎌田 豊	自治労滋賀県本部自治体退職者会
幹事	山本 忠夫	関労滋賀地区OB会
幹事	福井 雅昭	JAM滋賀シニアクラブ
会計監査	清水 崇夫	滋賀県退職教職員協議会
会計監査	松島 烈	ダイハツ阜月会滋賀支部

※現役幹事は省略

いよいよ 近況に活動中!

連合滋賀高退協 幹事
NTT労組退職者の会 堀井 雅和

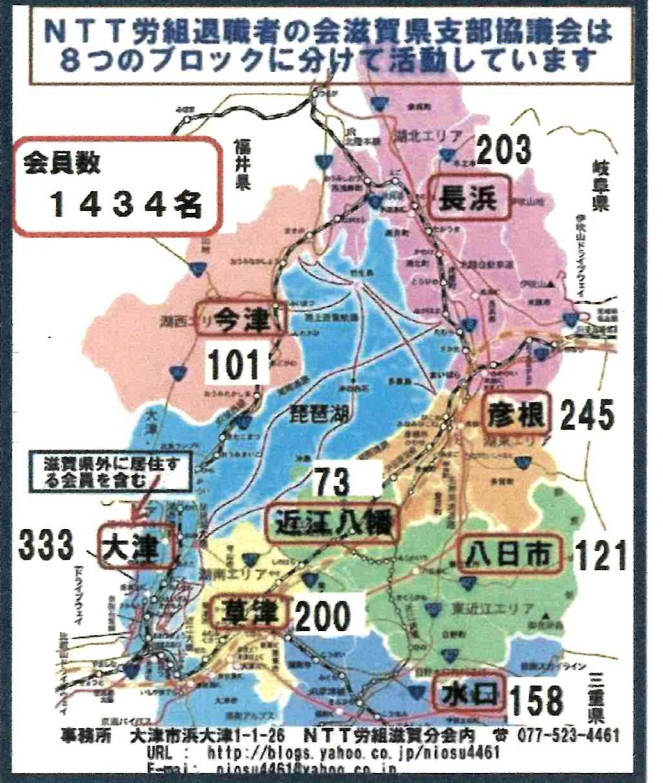
支部協行事・地域活動により
会員とのコミュニケーションを充実

NTT労組退職者の会(1月末会員数1434名)は右図のとおり八つの地域に分けて活動し、地域の会員とのコミュニケーションの充実を図っております。

昨年11月に開催した支部協議会総会において新しく中村憲市氏(元連合滋賀会長)を会長に選出しました。

まず組織の拡大についてですが、数年前から会社主催の退職説明会便乗型から脱皮し、NTT労働組合主催の退職者説明会を半日かけて実施、老後のライフプラン研修を組み入れるとともに、アフターには懇親会を開催するなどその充実に努めております。

訃報がそこそこ発生する中、近年は僅かながらも右肩上がりの微増傾向を保っております。



NTT労組滋賀県支部協議会機関紙「いのちのいきる」WEB NEWS 編集

連合滋賀高退協第20回総会・2014年退職者説明会

2014.2.28(日) 午前7:53 | 無題 | 連合滋賀高退協

連合滋賀高退協宣言

第20回総会が開催されました

2月8日午前10時30分から守山市のライズヴィル都賀山において滋賀高退協第20回総会が開催され、元NTT退職者の会会長・日本高退連羽山事務局長が来賓として出席されました。

滋賀県支部協議会からは高退協役員である山崎事務局長・堀井幹事と代議員として支部協から中村会長・北村、九里両事務局長・須賀事務局長次長、そして草津地域の久木代表幹事・森口幹事の計8名が参加しました。

終わりの総会宣言では北村副会長が宣言案を提案されました。

支部協議会の活動としましては総会を年一回、親睦バス旅行を年二回(一泊一回、日帰り一回)をバス三台規模で実施、グラウンドゴルフ大会は年二回(4月と9月)100名規模で実施、電電記念日退職者交流会を年一回(250名規模)開催しております。

機関紙は年四回定期発行を堅持するとともに、ブログによるホームページを2006年から開設、継続し、タイムリーな情報発信に努めております。

各地域におきましては年一回の地域集会を八つのブロックで開催する他、健康増進施策としてのウォークラリー・ボウリング・グラウンドゴルフ等を地域の実情に応じて開催し、会員とのコミュニケーションの充実に努めています。

これらの諸行事開催に伴う返信はがきにより地域役員が会員の近況把握が行えるほか、行事不参加や全く連絡の無い会員に対しては家庭訪問・電話訪問・機関紙手配り等の活動を通じて会員の現況把握に努めております。